

令和7年度全国高等学校総合体育大会 ～開け未来の扉 中国総体 2025～ 令和7年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 千葉県選手団の結団式・激励会が開催されました



7月9日（水）、千葉県総合スポーツセンターで、令和7年度全国高等学校総合体育大会「開け未来の扉 中国総体 2025」及び令和7年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に参加する選手の結団式・激励会が開催され、千葉県選手団ら625名が参加しました。

結団式・激励会では、冒頭に団長の千葉県高等学校体育連盟 津田亘彦 会長の挨拶があり、選手紹介、団旗授与に続き、千葉県教育委員会を代表して杉野 可愛 教育長が、千葉県選手団の活躍を祈念して激励しました。

代表生徒決意表明では、市立習志野高等学校ボクシング部 片岡 叶夢 選手から決意の言葉が述べました。

選手団の旗手は市立船橋高等学校陸上競技部 宮下 輝一 選手が務めました。

全国高等学校総合体育大会は広島県を中心に、鳥取県、島根県、岡山県で7月23日から8月20日まで、全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会は広島県で7月28日から31日までの開催です。



【挨拶】津田高体連会長



【選手激励】杉野教育長



【決意表明】片岡選手



【団旗授与】宮下選手

インデックス&ミニ・トピックス

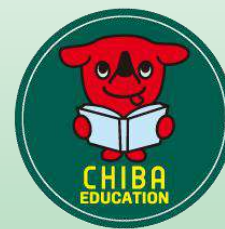
インデックス(目次)	頁
千葉県選手団の結団式・激励会が 開催されました	1
インデックス&ミニ・トピックス	2
災害発生時の心得 ～むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を～	3
第107回全国高等学校野球選手権千葉大会	4
令和9年度インターハイの実行委員会が 設立されました!	5
進路指導の充実!! 「中学校教員対象 専門学科(高校)視察研修」	6
令和7年度高校生ものづくりコンテスト 施盤作業部門 千葉県大会を開催	7
新しい特別支援学校の校名案を募集します (お知らせ)	8
県内学校ミニ・ニュース(旭市立矢指小学校)	9
イベント情報(生涯学習課より)	別冊
イベント情報(競技スポーツ振興課より)	別冊
国や県からの情報	別冊

「千葉県教育振興」ロゴマークを
新しく作成しました!

県教育委員会では、本県の教育を振興する機運を一層高めるため、子供たちをはじめ県民の皆様に親しまれているチーバくんを使った新たな教育振興ロゴマークを作成しました。

ロゴマークは、チーバくんの作者である絵本作家・イラストレーターの坂崎千春(さかざきちはる)さんに作成していただきました。

このロゴマークを活用して、より多くの保護者や地域の方々に、本県の教育に関心を持っていただき、子供たちが健やかに成長していけるよう取り組んでいきます。



「千葉県教育振興」
ロゴマーク

【ロゴマークのコンセプト】
子供たち一人一人が可能性を広げ、未来へ羽ばたいてほしいとの願いを込めたデザインとなっています。チーバくんの周りの緑色は黒板をイメージしています。

ロゴマークを
使用したい方はこちら⇒



◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

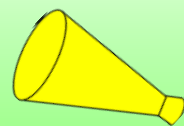
ご意見・ご提案メール : https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

[県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。\(←ここをクリック\)](#)

災害発生時の心得

～むやみに移動を開始せず、 落ち着いた行動を～



大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、学校や外出先から自宅へ帰ることが困難になることが予想されます。

災害発生時に多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があるほか、災害時に優先されるべき救助・救急活動の妨げとなります。



災害発生時には「むやみに移動を開始しない」

- ✓ まずは自分の身の安全を確保し、職場や集客施設等の安全な場所にとどまりましょう。
- ✓ **災害用伝言サービス**により、家族の安否や自宅の無事を確かめましょう。
(毎月1日と15日、防災週間(8月30日～9月5日)などに体験利用ができます。)
- ✓ 交通情報や被害情報などを入手しましょう。

災害用伝言サービス

- ・ **災害用伝言ダイヤル(171)** は、災害時に、固定電話、携帯電話等の電話番号宛に安否情報(伝言)を音声で録音(登録)し、全国からその音声を再生(確認)することができます。
- ・ **災害用伝言板** は、携帯電話等のインターネット接続機能により、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話等の番号をもとにして全国から伝言を確認できます。
- ・ **災害用伝言板(web171)** は、パソコンやスマートフォン等から固定電話や携帯電話の電話番号を入力して安否情報(伝言)の登録、確認を行うことができます。



日頃から準備しておきたいこと

- ✓ 事前に家族などと発災時の安否確認の方法や集合場所を話し合っておきましょう。
- ✓ 職場などに、飲料水や食料、懐中電灯、手袋、携帯ラジオ、地図、運動靴、マスク、除菌シートなどを用意しておきましょう。
- ✓ 徒歩やバスにより帰宅経路の状況を確認しておきましょう。
- ✓ 携帯電話の充電器やモバイルバッテリーなどを持ち歩きましょう。

徒歩帰宅者支援の取り組み

千葉県を含む九都県市※では、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援に関する協定を締結しています。

これらの店舗では、災害発生時に水道水やトイレの提供のほか、道路交通情報などを可能な範囲で提供していただけます。こうした店舗には、「**災害時帰宅支援ステーションステッカー**」(右画像参照)が掲示されていますので、日頃から帰宅経路の店舗の場所を確認しておくことで安心です。

※ 九都県市：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市



↑ コンビニエンスストア等



↑ 千葉県石油商業組合に加盟する県内のガソリンスタンド

☆本件に関する問い合わせ先：防災危機管理部危機管理政策課 Tel：043-223-3404

第107回全国高等学校野球選手権千葉大会が行われました

163校147チームによる千葉大会が7月5日に開幕しました。激闘を勝ち上がった2校による決勝戦は、走攻守共に非常にレベルの高いプレーが最後まで繰り広げられました。市立船橋高校がシーソーゲームの展開で迎えた延長戦を劇的な逆転で制し、3年ぶり7度目の甲子園出場を決めました。優勝した市立船橋高校は全国高等学校野球選手権に千葉県代表として出場しました。

開会式

令和7年7月5日(土) ZOZOマリンスタジアム



入場行進



163校147チームの整列



選手宣誓

決勝戦

令和7年7月27日(日) ZOZOマリンスタジアム



優勝旗授与



応援してくださった方々の前で胴上げ



記念撮影

表敬訪問

令和7年7月28日(月) 千葉県庁

7月28日に市立船橋高校野球部関係者による表敬訪問が行われました。

田中健人主将が抱負を述べた後、知事から「決勝戦のような試合は応援してくれている方々なくして実現できなかったと思います。改めて監督を含む学校関係者の方々、保護者の方々に心から敬意を表します。圧倒的な攻撃力と堅実な守備、決勝戦で見た粘り強さで千葉県代表として甲子園で素晴らしいプレーを見せていただきたい。」と激励の言葉がありました。



知事からの激励の言葉



集合写真

担当:教育振興部保健体育課
学校体育班

令和9年度インターハイの実行委員会が設立されました！

令和9年度に南関東四都県（千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）を中心に開催される全国高等学校総合体育大会に向けて、令和9年度全国高等学校総合体育大会千葉県実行委員会を令和7年7月1日（火）に設立し、第1回総会を開催しました！

実行委員会は、大会に関する必要な準備を行い、かつ大会の総括的運営に当たります。

【設立総会・第1回総会出席者】

千葉県教育委員会 杉野 可愛教育長（会長）

千葉県高等学校体育連盟会長

千葉県高等学校長協会会長

公益財団法人千葉県スポーツ協会専務理事

会場地市町教育委員会教育長又は担当部長

千葉県高等学校体育連盟開催競技専門部長

開催競技団体理事長 他

計40名が出席しました。



総会の様子

大会愛称

描け夢への軌跡

南関東総体 2027

スローガン

挑め
力の限り
目指せ
永遠の輝き

シンボルマーク



総合ポスター図案



取扱規程、活用ガイドラインは下記 HP でご確認ください。

全国高等学校総合体育大会について

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）は、高校生最大のスポーツの祭典です。

現在、夏季大会30競技及び冬季大会4競技が開催されています。

夏季大会は、平成23年度から全国を12ブロックに分け輪番で開催しています。

千葉県では、平成17年度（単独開催）、平成26年度（ブロック開催）に続き、3回目の開催となります。

その他大会に関することはこちら

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/anzen/soutai/r9kaisai.html>

HPのQRコード

はこちら→



担当：教育振興部保健体育課高校総体準備班

進路指導の充実!!「中学校教員対象 専門学科(高校)視察研修」

県教育委員会では、県内の市町村立学校から推薦された教員を対象に、県立高校の専門学科の学びを視察する機会を設けました。

この取組は、専門学科の実際の授業の様子や施設・設備等の見学を通して、専門学科への見識を深めることで、進路指導の充実を図ることをねらいとしています。

研修の内容は？	県内5地区で、午前1校、午後1校の2校の専門学科等を設置する高等学校を視察し、各学校で2コマ程度、学校の概要説明や授業参観、施設見学を行います。学校間の移動は、借上バスを利用しています。
研修の対象者は？	県内市町村立中学校の約半数の中学校から各校1名を推薦していただいています。2年間で、すべての学校が参加できるようにしています。 今年度は、138名が参加しました。 参加者の約3割が進路指導主事で、約4割が今年度初めて3学年を担当する方、または、他の学年の進路指導未経験の方でした。 学校の事情により、様々な立場の方が参加しています。



館山総合：家政科調理実習



旭農業：牛舎での実習

【視察先一覧】6/17(火)～27(金)の5日間で実施しました。

コース	午前	午後
A	市川工業(工)	千葉商業(商)
B	流山(農、商)	清水(工、農)
C	旭農業(農)	鉾子商業(商、水)
D	東金商業(商)	茂原樟陽(農、工)
E	館山総合(工、商、水、家)	安房拓心(総合)

実施後の参加者へのアンケート結果 (n=97)

●今後の進路指導を行う際の参考になったか。

⇒肯定票の割合：99.0%

●今回と違う学科を視察する機会があったら参加したいか。

⇒肯定票の割合：96.9%

参加者からの声（実施後のアンケートより）

- ・今年初めて3年生の担任となった。私は普通高校出身で、進路指導で工業や商業を希望する生徒がクラスの中で、自身が行ったこともなく、知識もない、十分な指導ができていないと感じていた。しかし、普段見ることができない専門学科、総合学科の授業や実際の雰囲気を知ることができた。生徒たちに自信をもって指導にあたれそうである。
- ・専門学科のカリキュラムや就職先、資格等を具体的に知ることができた。また、「くくり募集」という言葉の意味とメリットも知ることができ、進路相談で具体的なアドバイスができると感じられた。
- ・様々な企業や団体と連携し、生徒達の学びや経験の場を多く設けていることが分かった。
- ・校舎内部の施設を、高校の先生の説明とともに見学できたのが大変ありがたかった。今まで何度か高校の先生方から中学校訪問の際に説明は受けていたものの、実際に自分で見学することで、進路指導の引き出しが広がった。



担当：企画管理部教育政策課キャリア教育推進室

令和7年度高校生ものづくりコンテスト 旋盤作業部門 千葉県大会を開催

主催 千葉県高等学校工業教育研究会

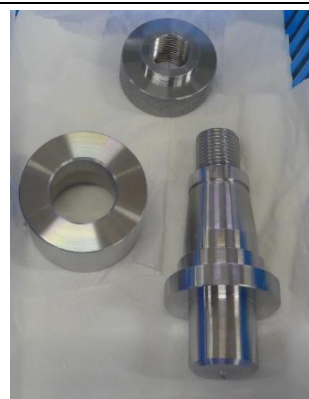
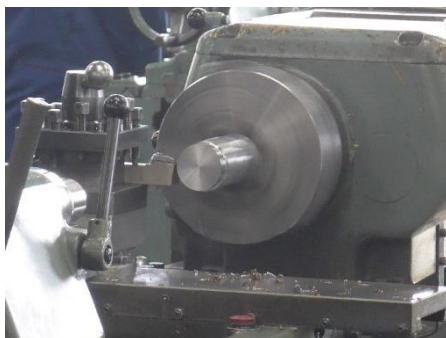
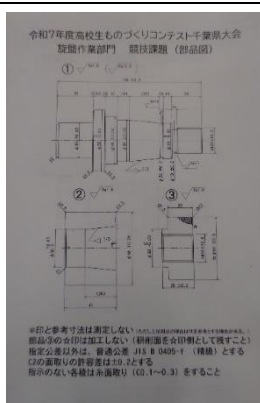
6月14日、令和7年度高校生ものづくりコンテスト旋盤作業部門千葉県大会が開催されました。この大会は、近年若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれていることを踏まえ、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習成果の発表の場として、毎年実施しています。

昨年、千葉県は関東大会を制し全国大会に出場しており、今年は県大会の優勝者と特別枠の準優勝者の2名が、8月22日に行われる高校生ものづくりコンテスト旋盤作業部門関東地区大会に出場します。

図面が配布され、作業時間2時間30分という制限時間の中、作製していきます。

千葉工業高校、市川工業高校の2校から5名の生徒が参加しました。

旋盤加工とは切削加工の一種で、金属や樹脂などの素材（ワーク）を回転させながら、刃物（切削工具）を使って指定された寸法になるように正確に切削する加工方法です。



図面を渡され、その場で
作り始めます

旋盤を使い、
加工していきます

日頃の成果を遺憾なく
発揮し、高精度な製品を
作製します



回転する刃先の先に見えるのは、技術の未来。高校生のうちから機械と向き合い、技を磨く姿は、日本の誇りそのものです。関東大会、全国大会へと自信と誇りを胸に、頑張ってください！！

成績 **優 勝** 県立千葉工業高等学校 電子機械科3年 岡田拓弥さん (関東地区大会進出)
準優勝 県立市川工業高等学校 機 械 科3年 上ノ山優斗さん (関東地区大会進出)
第3位 県立千葉工業高等学校 電 気 科3年 富永琉生さん

県大会では、後輩やOBを含めた先輩方、友人からの応援に支えられ、優勝し関東大会への切符を手に入れることが出来ました。共に練習してきた仲間たちの分まで、常に技能の高みを目指して、関東大会でも優勝を目指したいと思います。(千葉工業高等学校 電子機械科3年 岡田拓弥さん)

担当：企画管理部教育政策課キャリア教育推進室

新しい特別支援学校の校名案を募集します (お知らせ)

県教育委員会では、令和9年度に新しい特別支援学校2校の開校を予定しています。開校に当たり、新しい学校の校名案を募集しますので、皆様のアイデアをお寄せください。応募は、下記の各特別支援学校で受け付けています。

なお、校名案の募集については、新しい学校にふさわしい校名のアイデアを募集するものであり、応募された数によって校名が決まるものではありません。

また、正式に決定した校名に関する一切の権利は、県教育委員会に帰属するものとします。

1 新しい特別支援学校の概要

(1) (仮称) 千葉県立千葉地区特別支援学校

住所 千葉市花見川区天戸町1428の1 (旧千葉市立花見川第二中学校を活用)

学部 小学部・中学部・高等部

(2) (仮称) 千葉県立葛南地区特別支援学校

住所 浦安市明海5丁目5番1号 (浦安市立明海南小学校を活用)

学部 小学部・中学部

2 校名案募集期間

(1) (仮称) 千葉県立千葉地区特別支援学校の校名案募集期間

令和7年7月31日 から 令和7年9月5日

(2) (仮称) 千葉県立葛南地区特別支援学校の校名案募集期間

令和7年9月1日 から 令和7年10月3日

3 新しい特別支援学校の校名案募集に係る受付先 (各校 HP からフォームで受付)

(1) (仮称) 千葉県立千葉地区特別支援学校の校名案募集に係る受付先

- ・県立千葉特別支援学校

<https://cms1.chiba-c.ed.jp/chiba-sh/>

- ・県立八千代特別支援学校

<https://cms1.chiba-c.ed.jp/yachiyo-sh/>

- ・県立習志野特別支援学校

<https://cms2.chiba-c.ed.jp/narashino-sh/>

(2) (仮称) 千葉県立葛南地区特別支援学校の校名案募集に係る受付先

- ・県立市川特別支援学校

<https://cms1.chiba-c.ed.jp/ichikawa-sh/>

- ・県立船橋特別支援学校

<https://cms1.chiba-c.ed.jp/chibapref-funabashi-sh/>

- ・県立船橋夏見特別支援学校

<https://cms2.chiba-c.ed.jp/natsumi-sh/>

担当: 教育振興部特別支援教育課特別支援学校整備室

県内学校ミニ・ニュース

(旭市立矢指小学校)

「わだの原 わだの原 千里の沖ゆ 黒潮の～」

本校（明治10年創立 児童数110名）の校歌は、小学校では珍しい文語調です。「私たちの学校は、広々とした海を目の前にし、遠いところから流れてくる黒潮の恵みを受けている」という意味で、歴史ある校歌は多くの卒業生からも親しまれています。県北東部の九十九里浜に面した学区は、水産加工業も盛んで、海水浴場として観光客も集まり、古くから海の恩恵を受けてきました。

海と深く関わる地域にある本校は、令和4年度から「地域学校協働活動」に取り組み、「地域とともに夢を育むやさしっ子」の育成を目指しています。



地域の伝統行事「お浜おり」を教育活動に！！

海上安全と五穀豊穡を願う12年に一度の伝統行事を「全校児童に見せたい」という願いが叶えられ、矢指ヶ浦海岸で見学することができました。本校児童による「稚児舞」も披露され、地域の皆様から大きな拍手をいただきました。行事のハイライトとなる神輿の「お浜おり」は、太陽に照らされた美しい神輿と勇壮な担ぎ手の姿に大きな歓声があがりました。

「12年後は自分たちが担ぎ手になる！」という熱い思いを語る児童もいました。郷土愛を育む教育の実現にご協力いただきました地域コーディネーターをはじめとする地域の皆様に心から感謝しています。



サーフィン教室開催

海のスポーツを体験するサーフィン教室を開催しました。本校にはオリンピック出場を目指し、日々海岸でサーフィンの練習に励む児童も在籍しています。

講師にプロサーファーの保護者や地元のサーファーの方をお招きし、ライディングやパドリングを体験します。パドリングリレーには、職員も参加し、大いに盛り上がりました。



寄せ植え・フラワーアレンジメント教室

花栽培農家の方を講師にお迎えし、寄せ植えとフラワーアレンジメント教室を開催しました。何種類もの花の名前や特徴を教えていただき、美しい花々が心に安らぎを与えることを体感しました。このような体験が契機となり、新しいことに挑戦し、矢指の子どもたちが、将来「ふるさと旭」で活躍することを願っています。

